

内覧会で、蒸した岩ガキの殻から身を取り出す参加者



期間限定旬の味どうぞ

松江に岩がき小屋 オープン

松江市産の岩ガキを食べられる「岩がき小屋」(松江市東朝日町)が1日、オープンする。冬場の人気を博した「カニ小屋」に続く企画で、同市島根町で採れた旬の岩ガキを提供する。5月7日までの約1カ月間オープンし、市民や観光客に楽しんでもらう。

カニ小屋を運営した市内の経営者有志が昨年に続き実施。松江市産の岩ガキの認知度向上と観光対策を兼ね、同市東朝日町の松江港の倉庫を借りて期間限定で開設する。

店内は、来店者が自分で岩ガキを蒸して、殻を取って食べるセルフ方式。岩ガキは量り売りで、100g当たり220円。調理の手間を省くことで、手頃な価格を実現した。

3月30日にあった内覧会には、観光関係者や市民ら50人が参加。友人を訪れた松江灘町の大学職員中村和可子さん(46)は「身が詰まっていて、濃厚な味でおいしいと満足できた。映像制作

ね、同市東朝日町の松江港の倉庫を借りて期間限定で開設する。

店内は、来店者が自分で岩ガキを蒸して、殻を取って食べるセルフ方式。岩ガキは量り売りで、100g当たり220円。調理の手間を省くことで、手頃な価格を実現した。

会社メディアスコープの中尾禎仁社長(49)は「島根町の岩ガキのおいしさを多くの人に伝えたい」と来場を呼び掛けた。

営業時間は平日が午後5時～10時、土日祝日が午前11時～午後10時。同店舗の問い合わせ先は、電話09

0(4100)6942。(佐野卓矢)

大学など就職内定率 島根89.5%、鳥取93.7%

労働局、2月末時点

鳥根、鳥取両労働局は、

2017年春に鳥根、鳥取

両県内の高校、大学などを

卒業予定の生徒、学生の2

月末時点の就職内定率をま

とめた。大学などは鳥根県

が前年同期比1.2割減の

89.5%、鳥取県が0.3

割増の93.7%。高校は鳥

根県が0.2割減の97.5

%、鳥取県が0.8割減の

97.7%だった。

大学などは、鳥根県が就

職希望者1994人に対

し、内定者1784人。内

定率の内訳は大学・大学院

が0.8割減の92.8%、

短大・高専が4.2割減の

86.0%、専門学校・職業

能力開発学校が0.5割減

の86.9%だった。

鳥取県は希望者1888

人で、内定者1769人。

大学・大学院が2.0割増

の95.0%、専門学校が2

.7割減の88.9%。短大

と高専は各1校しかないた

め、非公表とした。

高校は、鳥根県が就職希

望者1292人、内定者1

260人。鳥取県が希望者

1145人、内定者111

9人。求人倍率は鳥根県が

0.26割増の1.87倍、鳥

取県が0.17割増の1.66

倍で両県ともに同時期の過

去最高を更新した。(堀江玄)

地域貢献策強化を表明

島根県立大 清原新学長が初会見

島根県立大の清原正義学長は12日、就任後初めて同大浜田キャンパス（浜田市野原町）で記者会見し、推薦入試で県内枠拡大の方針を示したほか、カリキュラムに郷土色を強め、島根大（松江市西川津町）と差別化を図るなど、地域貢献策を進める考えを明らかにした。

清原学長は「地域貢献をどう具体化するかが最も重要な課題で、人口減少に歯止めをかけた」と意欲を



島根県立大 清原新学長が初会見

語り、県内3キャンパスで地域貢献の取り組みを強化するとした。

具体的には、推薦入試で県内高校の卒業見込みが受験資格となっている県内枠の定員を広げる方向で検討に入る。2018年度の入試要項は固まっていたため、拡大は19年度以降の見込みだが、増やす人数や時期は言及しなかった。

また、浜田キャンパスで16年度は22・5%だった県内企業への就職内定率を高めるため、企業への働きかけを強めるほか、学生が企業への理解を深めるイベントの開催、インターンシップを推進する。

松江キャンパス（松江市浜乃木7丁目）の短期大学部の一部四年制化に伴う再編で18年4月に開設予定の人間文化学部と、出雲キャンパス（出雲市西林木町）の看護学部などは、島根大の既存の学部とカリキュラムの特質が重複する可能性がある」と説明。松江キャンパスで松江の郷土史を盛り込むなど、特色のあるカリキュラムで学生を呼び込む計画を明かした。

清原学長は「大学が社会の期待にかなう人材を地元へ送り出すことが、今の時代に求められている」として役割を果たすことを誓った。（鎌田剛）

平成 29 年 4 月 28 日 付 ・ 山陰中央新報

島根の高校・大学 過去最高

就職内定率 島根も高水準維持

島根、鳥取両労働局は今春卒業生に山陰両県の高校、大学などを卒業した生徒、学生などの最終的な就職内定率（3月末時点）をまとめた。人手不足などを背景にした求人増で、島根県は大学・大学院卒が前年比0・6%増の97・5%、高校が0・

鳥根県は、大学などの就職希望者1942人に対し、内定者1866人。大学院以外の内定は、短大・高専が1・2%減の96・6%、専門学校・職業能力開発校が1・1%減の94・1%だった。

高校の就職希望者数は1290人で、内定者数は1289人。内定率は2年連続で過去最高を更新した。人手不足が続く建設業や宿泊・飲食業の求人増で、求人倍率は1・87倍となり、記録が残る1996年以降で最高だった。

鳥根県は、大学などの就職希望者1914人に対し、内定者1855人。大学院以外の、専門学校が1・9%減の96・2%。短大と高専は各1校のため、非公表とした。

高校は就職希望者1139人、内定者1134人。製造業などの求人増で、求人倍率は過去最高の1・67倍だった。（堀江玄）